

核融合エネルギーフォーラム会員各位

令和元年 12 月 23 日

炉工学クラスター 炉材料サブクラスター

橋本 直幸 (北海道大)

谷川 博康 (量 研)

ブランケットサブクラスター

小西 哲之 (京都大学)

河村 繕範 (量 研)

炉材料サブクラスター (令和元年度第 1 回)

ブランケットサブクラスター (令和元年度第 1 回)

合同会合のご案内

平素より、核融合エネルギーフォーラムの活動にご協力いただきありがとうございます。
ございます。

さて、炉工学クラスターのブランケット、及び炉材料の各サブクラスターにおいては、ITER・TBM と幅広いアプローチ (BA) 活動を中心とした核融合炉実現に向けた炉内機器並びに材料開発の重要課題について、専門家を交えた幅広い意見の交換と情報の共有を図り、原型炉開発に向けた課題抽出と解決のための方策について議論を重ねて参りました。

この度、特にブランケットシステムと炉材料の双方に密接に関係する共通の重要課題を中心に議論を行うため、合同でサブクラスター会合を開催することと致しました。具体的には、ブランケット開発では、ITER テストブランケットシステム(TBS)に関する国際協議、我が国における TBS 詳細設計活動の進捗、水冷却固体増殖 TBS に関する安全実証試験計画に関する検討の成果などの最新の状況について議論いたします。一方炉材料開発では、最新の核融合炉内機器の設計検討に即した今後の材料研究の展開・役割・貢献について、具体的には 2020 年から開始予定の BA フェーズ II に係る炉構造材料開発計画や米国を始めとする他の国際協力の状況を中心に進捗状況と今後の展望について議論いたします。また、大学における原型炉設計活動及び材料開発の状況に関する研究の最近の進展についても情報を共有します。これらの議論を通じて、原型炉開発に向けたロードマップ及びアクションプランに対しての研究開発の位置づけの再確認を行うとともに、研究課題に関する情報共有、今後の研究開発方針について理解を深めることを目的とします。

また、本会合は NIFS 研究会「原型炉に向けた炉内機器・材料・システム統合研究会」(代表：小西 哲之、NIFS 世話人：田中照也) とともに合同で開催します。

以下に、開催要領を記します。皆様方のご参加、宜しくお願い致します。

記

日 時：令和2年1月21日（火）11:00-16:20
場 所：核融合科学研究所 シミュレーション科学研究棟 1階 会議室
岐阜県土岐市下石町 322-6

予定議題：

- 1) はじめに
- 2) ITER/BA 計画におけるブランケット・材料開発の現状と今後の展開
- 3) WCCB-TBS 開発の進捗
- 4) 炉構造材料研究開発の国際協力の現状と展望
- 5) 大学における材料開発の進捗
- 6) 総合討論

○申込先・連絡先：(会合幹事宛)

野澤 貴史(量研、0175-71-6534、nozawa.takashi@qst.go.jp)

○参加申込締切：

令和2年1月6日（月）

・核融合エネルギーフォーラム会員として参加される場合、事前登録（申込）を必ずお願いします。

・本会合の議事内容、録音、録画ならびに発表資料等の公開はご遠慮下さい。

・本会合で講演や発表などを希望される方は、タイトルや要旨を添えてお申し込み下さい。但し、時間の制約などご希望に添えないこともありますので、予めご了承下さい。

・コメント等がありましたら、参加申込書の該当欄にご記入下さい。

※申し込み・問い合わせとも、核融合エネルギーフォーラム事務局ではありません。ご注意ください！

----- 参加申込書 -----

炉材料サブクラスター (令和元年度第1回)

ブランケットサブクラスター (令和元年度第1回)

合同会合

氏 名：

会員 番号：

所属・職位：

連絡先：

電子メール：

コメント欄：

まだ核融合エネルギーフォーラムに入会されておられない方は、
この機会に下記 URL からぜひご入会下さい。

<http://www.fusion.qst.go.jp/fusion-energy-forum/>

にアクセスし、サイドメニュー「入会のご案内」をご覧ください。

入会に当たり会費及び入会費は不要です。

以上

核融合エネルギーフォーラム事務局

E-mail: fusion-energy-forum@qst.go.jp

FAX: 029-270-7468
